

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年2月6日
【四半期会計期間】	第62期第2四半期（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
【会社名】	ダイトエレクトロン株式会社
【英訳名】	Daito Electron Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 前 績行
【本店の所在の場所】	大阪市淀川区宮原四丁目6番11号
【電話番号】	06（6399）5041（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 財務部長 毛利 肇
【最寄りの連絡場所】	大阪市淀川区宮原四丁目6番11号
【電話番号】	06（6399）5041（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 財務部長 毛利 肇
【縦覧に供する場所】	ダイトエレクトロン株式会社 東京本部 （東京都千代田区麹町三丁目6番地） ダイトエレクトロン株式会社 名古屋支店 （名古屋市中区栄三丁目10番22号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年8月14日に提出いたしました第62期第2四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）の四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

（セグメント情報等）

セグメント情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第4【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

【注記事項】

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

（訂正前）

当第2四半期連結累計期間（自平成25年1月1日至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,700,647	3,273,191	1,143,001	2,074,948	17,191,789	-	17,191,789
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	<u>538,059</u>	<u>426,561</u>	1,957,894	37,653	<u>2,960,169</u>	<u>2,960,169</u>	-
計	<u>11,238,707</u>	<u>3,699,753</u>	3,100,895	2,112,602	<u>20,151,958</u>	<u>2,960,169</u>	17,191,789
セグメント利益 又は損失 ()	61,144	92,104	13,731	53,305	8,614	33,919	25,304

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 33,919千円には、セグメント間取引消去36,377千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 70,296千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失()と調整を行っております。

(訂正後)

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子機器 及び部品	製造装置	国内子会社	海外子会社	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	10,700,647	3,273,191	1,143,001	2,074,948	17,191,789	-	17,191,789
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	435,039	121,369	1,957,894	37,653	2,551,955	2,551,955	-
計	11,135,686	3,394,561	3,100,895	2,112,602	19,743,744	2,551,955	17,191,789
セグメント利益 又は損失 ()	61,144	92,104	13,731	53,305	8,614	33,919	25,304

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 33,919千円には、セグメント間取引消去36,377千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 70,296千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。なお、第1四半期連結会計期間より、全社費用の範囲について、報告セグメントの損益をより適正に評価管理するための見直しを行った結果、従来の方法によった場合に比べて、「電子機器及び部品」のセグメント利益は83,748千円減少、「製造装置」のセグメント損失は22,666千円増加しております。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失()と調整を行っております。